

解散・総選挙含み 国会緊迫!! 悪法次々強行

国会は21日の会期末を控え、解散・総選挙含みで緊迫しています。一方で政府与党の自民・公明と維新・国民民主の悪政連合が、マイナー保険法、入管法改悪など数を力に次々と悪法を成立させており、岸田内閣に対する批判の声が沸き起こっています。



参議院本会議(6月9日)
嘉田由紀子参院議員
国民民主党に入党

入管法改悪に賛成

ガツカリを通り越して
「裏切りだッ」

嘉田由紀子参院議員が国民民主党に入党し、こと
もあろうに9日の参院本会議では、入管法改悪案に
賛成する態度をとったことに「がっくりを通り越し
て、裏切りだ」との批判の声があがっています。市
民と野党の統一候補としての自覚もなく「背信行為」
そのものです。

65歳以上高齢者 7人に1人が「認知症高齢者」

急増

認知症高齢者になっても
安心して住み続けられる甲賀市に

山岡議員が一般質問 条例化を提案

高齢化がすすむも誰も認知症になるリスクがありません。2025年には、認知症高齢者の数は「5人に一人」に達すると推計されているだけに、他人事ではありません。認知症になっても住み慣れた地域で安心して住み続けられる街をどうつくっていくのか、は高齢化が進む甲賀市にとっても緊急かつ深刻な問題です。山岡光広議員は6月議会一般質問で、認知症対策を取り上げました。

甲賀市で65歳以上人口は、約25600人。高齢化率は平均でも29%。平成30年のデータで「65歳以上高齢者の7人に一人が認知症」といわれています。甲賀市にあてはめてみると約3600人です。認知症の人やその家族のなかには、認知症に対する誤った知識や偏見から周囲に打ち明けることをためらうために、地域包括支援センターに相談が持ち込まれるときは、認知症の症状が悪化している場合が多いと聞きます。山岡議員は、こうした状況をふまえて「相談窓口」の開設、専門外来の充実、「認知症ケアパス」の周知と普及、徘徊高齢者対策、認知症が原因で事故を招く事例が起こっていることから個人賠償責任保険の充実、それらの前提に「認知症になっても安心して住み続けられる甲賀市条例」を制定してはどうか、と提案しました。

新農業委員決まる

13日の本会議で任期満了に伴う新しい甲賀市農業委員19名が全会一致で同意されました。

公選制から市長の任命制になって三度目。今回公募・推薦があったのは22名。そのなかから市長が19名に絞って議会に提案し議会が同意するというシステムですが、議会には「評価」などは示されていないため、山岡議員が「議員が判断する資料を提供すべき」と提案しました。新農業委員で甲南町在住は、勝井麻有美さん(葛木)、中島準一さん(深川)、山川芳範さん(下馬杉)の3名。

山ちゃんの一週間

●…9日(金)は、早朝甲南駅で宣伝、市役所などで議会準備・相談等。●…10日(土)は、10時から・16時から・17時から大津で会議。●…11日(日)は、諸々実務・生活相談など。●…12日(月)は、9時半から生活相談、13時半から草津で会議。●…13日(火)は、9時半から議会本会議・質疑、10時10分から会派代表者会議、11時半から請願事項で懇談、14時から守山で会議。●…14日(水)は、ニュース作成、議会準備など。

日本共産党



やまおかみつひろ

山岡光広 市議会議員 活動報告

2023年6月18日
第981号

0748-86-2985 Fax0748-86-0415

yama729@maia.eonet.ne.jp



山岡光広 検索